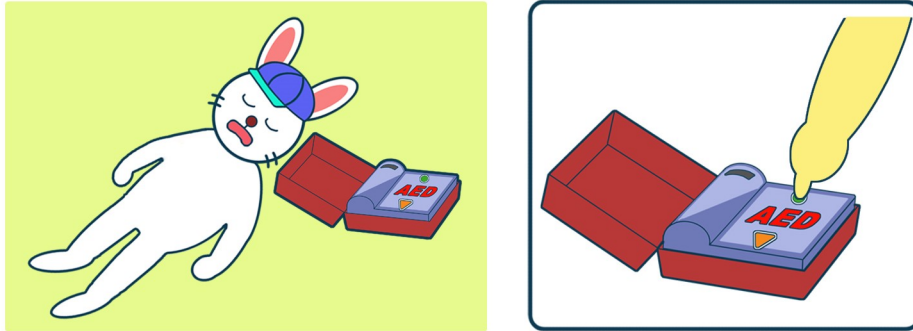


2 AEDの使用手順

心肺蘇生を行っている途中で、AEDが届いたらすぐにAEDを使う準備を始めます。

7 AEDの到着と準備

① AEDを傷病者の近くに置き、電源を入れる

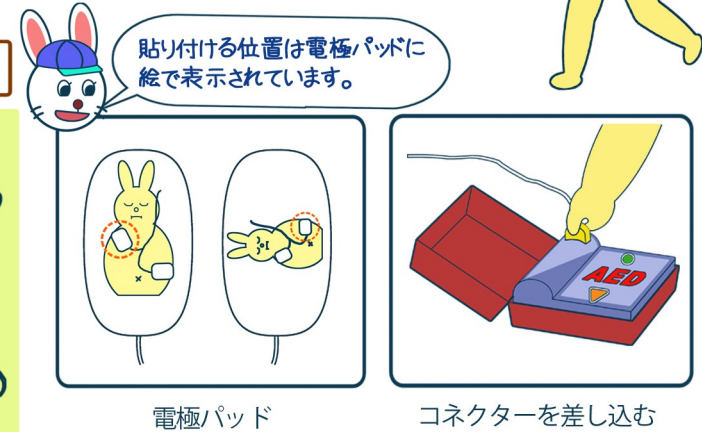


- AEDを傷病者の頭の近くに置くと操作しやすくなります。
- AEDのふたを開け、電源を入れます（ふたを開けると自動で電源が入る機種もあります）
- 電源を入れたら、音声メッセージと点滅するランプに従って操作します。

② 電極パッドを貼る



- 傷病者の衣服を取り除き、胸をはだけます。
- 電極パッドを傷病者の胸にしっかりと貼ります。
- 電極パッドのコネクターを本体に差し込みます。（最初から本体につながっている機種もあります）



ポイント 電極パッドを貼る時も！

- 電極パッドを貼りつける際にも、可能であれば胸骨圧迫を継続してください。
- 貼る位置は、電極パッドなどに描かれたイラストに従って右鎖骨の下および胸の左下側（左わきの5～8cm下、乳頭の斜め下）の位置に貼り付けます。

メモ



★ 注意！ 成人用と小児用 ★

成人用と小児用の2種類のパッドが入っている場合や、モードを切り替えるスイッチが付いた機種があります。

その場合、

- 小学生以上には、成人用の電極パッド・成人用モード
- 未就学児には、小児用の電極パッド・小児用モード
※未就学児（およそ6歳まで） を使用してください。

成人には、小児用電極パッド・小児用モードを使用しないでください

絶対！
気を付けてね！！



8 心電図の解析

- 電極パッドを貼り付けると“体に触れないでください”などのメッセージが流れ、自動的に解析が始まります。この時、「**離れてください!**」と声を出し、傷病者に誰も触れていないことを確認します（解析ボタンを押す機種もあります）
- “**ショックは不要です**”などのメッセージが流れた場合は、ただちに胸骨圧迫から再開します。

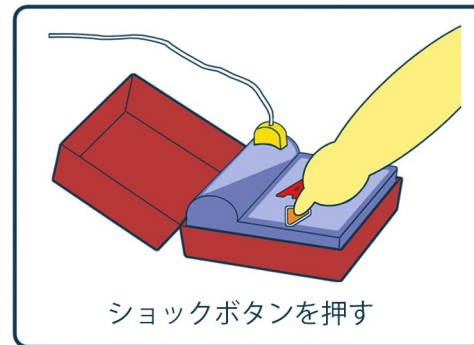


解析中は音声メッセージに従い離れる

9 電気ショック

- “ショックが必要です”などのメッセージが流れると自動的に充電が始まります（充電には数秒かかります）
- 充電が完了すると“ショックボタンを押してください”などのメッセージと、ショックボタンが点灯します。
- 「**離れてください**」と再度注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタンを押します。

必ずみんなが離れていることを確認し
安全にAEDを使用しましょう!



ショックボタンを押す

ポイント 電気ショックの後は?!

電気ショックが完了すると“ただちに胸骨圧迫を再開してください”などのメッセージが流れますので、これに従って、ただちに胸骨圧迫を再開し、心肺蘇生を続けます。

- AEDによる心電図の解析や電気ショックなど、やむを得ない場合を除いて、胸骨圧迫の中断を出来るだけ短くすることが大切です。



30回の
胸骨圧迫

ただちに
胸骨圧迫から
再開します!!

2回の
人工呼吸

10 心肺蘇生とAEDの繰り返し

心肺蘇生を再開して2分ほど経ったら、再びAEDが自動的に解析を行います。以後はメッセージに従って **8 心電図の解析**、**9 電気ショック**+ただちに胸骨圧迫から再開し心肺蘇生を続けます。この手順を約2分間おきに繰り返します。

一度貼ったパッドは、はがさないで!
AEDの電源は入れたままに!!

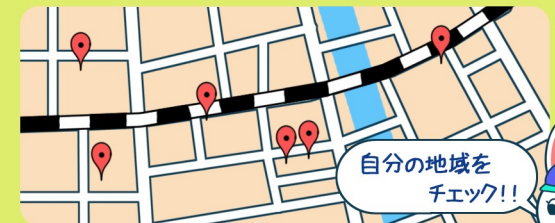


メモ

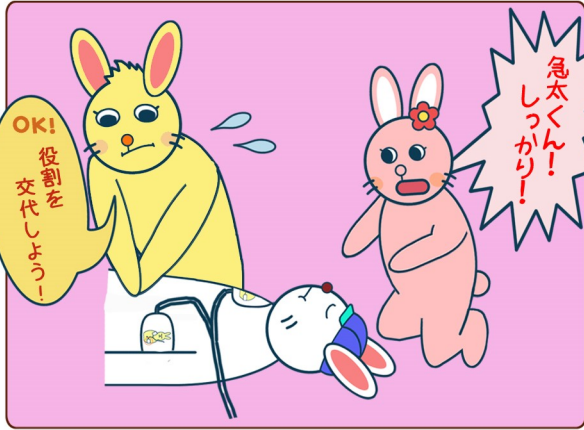
救子の耳より情報

鳥取市のホームページには、各地域の“AEDマップ”が掲載されています。

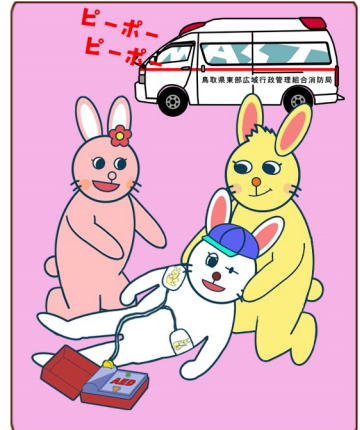
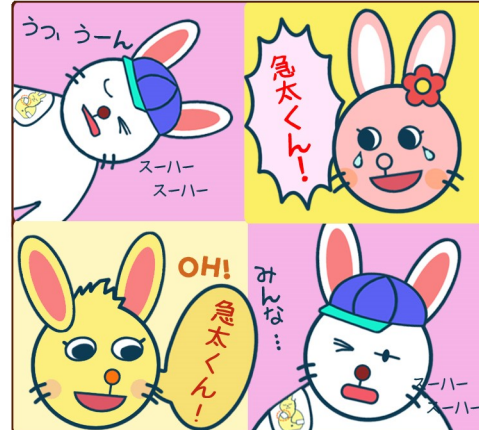
鳥取市 AED マップ 検索



※鳥取県のHPにも情報掲載!
こちらもチェック!!



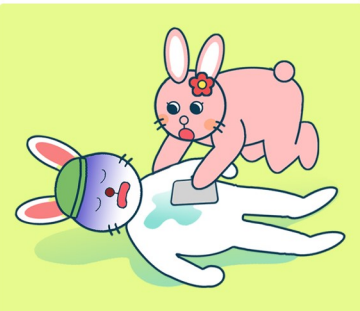
<h3>胸骨圧迫 30回</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 胸の真ん中! ● 強く! (約 5cm) ● 速く! (100 ~ 120 回) ● 絶え間なく! ● 圧迫と圧迫の間は力を抜く! <p>※詳しくは 5 ページ</p>	<h3>人工呼吸 2回</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 口対口で鼻をつまむ ● 胸が上がる程度 ● 1 秒かけて吹き込む ● 2 回続ける ● 10 秒以上かけない! <p>※詳しくは 6 ページ</p>
--	---



心肺蘇生は、「救急隊に引き継ぐまで」または「傷病者が目を開けたり、普段どおりの呼吸をはじめるとまで」続けます。

AED 使用時の注意点

- 傷病者の胸が濡れている場合は、タオル等でふき取ってから電極パッドを貼ります。
- 胸に貼り薬があり、電極パッドを貼る際に邪魔になる場合は、それらをはがして、肌に残った薬剤をふき取ってからパッドを貼ります。
- 心臓ペースメーカーや植込み型除細動器がある場合は、そこを避けてパッドを貼ります。
- AED から “ショックは不要です” などのメッセージが出たら、電気ショックが必要のない状態です。この場合には、メッセージに従ってただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。



乾いた布やタオルで胸を拭く



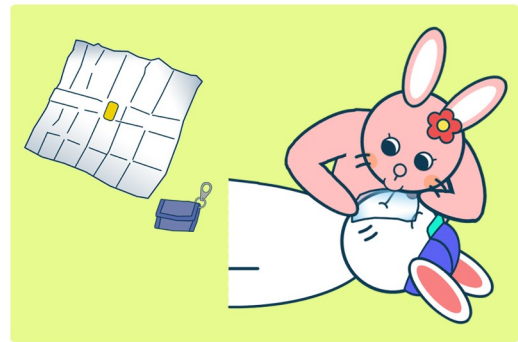
心臓ペースメーカーなどが植込まれている場合



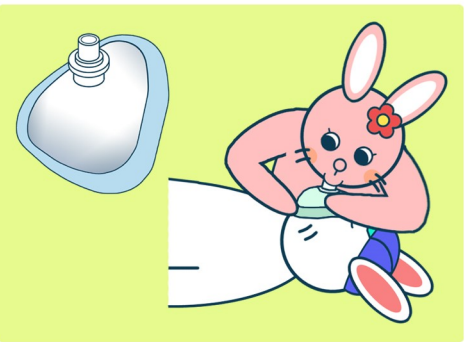
ショック不要時はただちに胸骨圧迫

感染防ぎよ

- 口対口人工呼吸による感染の危険性は極めて低いですが、手元に感染防護具 (一方向弁付感染防止用シート、人工呼吸用マスク) がある場合は使用します。
- 傷病者の顔面や口から出血している場合や、口と口を直接接触させて口対口人工呼吸がためられる場合は、人工呼吸を省略し、胸骨圧迫のみを続けます。



感染防止用シート



人工呼吸用マスク